

# Sun Blade™ 1500 ご使用にあたって

---

(シルバー)



Sun Microsystems, Inc.  
[www.sun.com](http://www.sun.com)

Part No. 819-0520-11  
2004 年 12 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2004 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品のの一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリコービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun Blade, SunPCi, AnswerBook2, docs.sun.com, NetBeans, Power Management, Java, StarSuite, Java 3D, MySun, Solstice DiskSuite, SunForum, SunSolve, ShowMe, Java のコーヒーカップのロゴ、OpenBoot は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Energy Star のロゴは、米国 EPA の登録商標です。



米国 Sun Microsystems 社は ENERGY STAR® の参加事業者です。ENERGY STAR のロゴが付いた本製品の構成が ENERGY STAR の対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun Blade 1500 Getting Started Guide  
Part No: 817-5129-11  
Revision A



# 目次

---

はじめに xi

1. Sun Blade 1500 ワークステーションの設定 1
  - 安全性と適合性に関する情報 1
  - 設置作業の計画 1
  - ワークステーションの開梱 3
    - 正面パネルの概要 4
    - 背面パネルの概要 5
  - ワークステーションのケーブル接続 7
    - USB ケーブルの長さ 8
  - ワークステーションの電源投入 9
  - ワークステーションの電源切断 10
  
2. プリインストールされた Solaris オペレーティングシステムソフトウェアの設定 11
  - Solaris オペレーティングシステムのインストール作業の計画 11
  - オペレーティングシステムの設定 12
  - Sun Install Check 15
    - Sun Install Check のダウンロード 15
  - 電源管理機能 16
    - ワークステーションを低電力モードにする方法 17

低電力モードのワークステーションのアクティブ化 17

- 3. プリインストールソフトウェアの起動準備 19
  - Solaris マニュアル 20
  - Sun Blade 1500 ワークステーションハードウェアマニュアル 20
    - ハードディスクドライブに収録されているマニュアル 20
    - CD に収録されているマニュアル 21
    - ShowMe How ビデオアニメーションの表示 21
  - Mozilla 22
    - Mozilla の起動準備 22
  - Solstice DiskSuite およびボリュームマネージャー 22
    - Solaris 8 オペレーティングシステムでの Solstice DiskSuite の起動準備 22
    - Solaris 9 オペレーティングシステムでのボリュームマネージャーの起動準備 23
  - 共通デスクトップ環境 (CDE) 23
  - GNOME デスクトップ環境 23
    - GNOME の起動準備 23
  - Apache Server 24
    - Apache Server の起動準備 24
  - Adobe Acrobat Reader 24
    - Adobe Acrobat Reader の起動準備 25
  - Sun ONE Grid Engine 25
  - StarSuite 25
    - StarSuite の起動準備 26
  - Sun ONE Studio 27
    - Sun ONE Studio の起動準備 27
  - Perl 27
    - Perl の準備 28
  - Java プラットフォーム用開発ツール 28

JMStudio	29
JMStudio の起動準備	29
SunForum	29
SunForum の起動準備	30
プリインストールソフトウェアの復元	30
プリインストールされた Solaris ソフトウェアの復元	30
Sun Blade 1500 ワークステーションマニュアルの復元	31
その他のソフトウェアの再インストール	31
StarSuite ソフトウェアの再インストール	32
Mozilla の再インストール	32
プリインストールイメージの別のハードディスクドライブへのバックアップ	32
ハードディスクドライブのミラー化	33
Solaris 8	33
Solaris 9	33
4. 障害追跡および技術サポート	35
Sun Blade 1500 ワークステーションの障害追跡	35
技術的な問題についての問い合わせ方法	40



# 目次

---

図 1-1	Sun Blade 1500 ワークステーションの設置作業	2
図 1-2	ワークステーションの開梱	3
図 1-3	正面パネルの概要	4
図 1-4	背面パネルの概要	5
図 1-5	オプションのグラフィックスアクセラレータと搭載済みの IEEE 1394 および USB カード	6
図 1-6	ケーブル接続	7
図 2-1	インストール作業の流れ	12
図 2-2	Sun Type-6 USB キーボードの Sleep キーと「Power Off Selection」メニュー	17



# 表目次

---

表 1-1	ワークステーションの電源切断	10
表 2-1	Solaris デスクトップオペレーティングシステムの設定に必要な情報	14
表 2-2	電源インジケータ LED 状態	16
表 4-1	障害追跡の手順	35
表 4-2	Sun の Web サイトおよび電話番号	40



# はじめに

---

このマニュアルでは、シルバーベゼルの Sun Blade 1500 ワークステーションでの、オペレーティングシステムの設定方法およびプリインストールされたソフトウェアアプリケーションの使用方法について説明します。このマニュアルは、ワークステーションでのハードウェアの取り付けやソフトウェアのインストールの経験のあるユーザーを対象としています。

このマニュアルは、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、スウェーデン語、日本語、韓国語、簡体字中国語、繁体字中国語に翻訳されています。翻訳版のマニュアルは、Sun Blade 1500 Hardware Documentation CD (705-1197) に収録されています。このマニュアルおよび翻訳版のマニュアルは、次の URL から入手することもできます。

<http://www.sun.com/documentation/>

---

## マニュアルの構成

このマニュアルは次の章から構成されています。

第 1 章では、開梱およびケーブル接続、ワークステーションの電源投入について説明します。

第 2 章では、プリインストールされている Solaris™ オペレーティングシステムの設定と使用方法について説明します。

第 3 章では、プリインストールされているソフトウェアアプリケーションの起動方法について説明します。

第 4 章では、ワークステーションの障害追跡について説明します。

# UNIX コマンド

このマニュアルには、UNIX® の基本的なコマンド、およびシステムの停止、システムの起動、デバイスの構成などの基本的な手順に必要な説明は記載されていません。

UNIX コマンドに関する説明は、次のマニュアルを参照してください。

- 『Sun 周辺機器 使用の手引き』
- 『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics, and Troubleshooting Manual』 (817-5127)
- ご使用のシステムに付属のその他のソフトウェアマニュアル
- 下記にある Solaris オペレーティングシステムのマニュアル

<http://docs.sun.com>

## 書体と記号について

書体または記号*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
<b>AaBbCc123</b>	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	% <b>su</b> Password:
AaBbCc123 またはゴシック	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm <i>filename</i> と入力します。 rm <b>ファイル名</b> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「 」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅をこえる場合に、継続を示します。	% <b>grep</b> \^#define \ <b>XV_VERSION_STRING'</b>

\* 使用しているブラウザにより、これら設定と異なって表示される場合があります。

---

# シェルプロンプトについて

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	マシン名%
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#

---

## 関連マニュアル

用途	タイトル	Part No.
システム設定	『Sun Blade 1500 Start Here』	817-5123
基本的な障害追跡	『Sun Blade 1500 Troubleshooting Card』	817-5125
保守、診断、および障害追跡の詳細	『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics, and Troubleshooting Manual』	817-5127
ハードウェア、ソフトウェア、マニュアルの変更点	『Sun Blade 1500 Product Notes』	817-5131
安全性および適合	『Sun Blade 1500 Safety and Compliance Guide』 『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』	817-5130 816-7190
Solaris オペレーティングシステム	『Solaris 8 2/04 Sun ハードウェアマニュアル』 『Sun 周辺機器 使用の手引き』 『Solaris 9 9/04 Sun ハードウェアマニュアル (補足)』 『Solaris 9 9/04 Sun ハードウェアマニュアル』	(変更されることがあります)
グラフィックスアクセラレータ	『Sun XVR-100 グラフィックスアクセラレータインストールマニュアル』 『Sun XVR-600 グラフィックスアクセラレータインストールマニュアル』 『Sun XVR-1200 グラフィックスアクセラレータインストールマニュアル』	817-1749 817-3192 817-1118
コプロセッサボード	『SunPCi™ III 3.2.1 User's Guide』	817-3630

---

## Sun のオンラインマニュアル

各言語対応版を含む Sun の各種マニュアルは、次の URL から表示、印刷、または購入できます。

<http://www.sun.com/documentation>

---

## Sun 以外の Web サイト

このマニュアルで説明する Sun 以外の Web サイトの利用については、Sun は責任を負いません。このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料についても、Sun は保証しておらず、法的責任を負いません。また、このようなサイトやリソース上、またはこれらを経由して利用できるコンテンツ、商品、サービスの使用や依存に関連して発生した実際の損害や損失、またはその申し立てについても、Sun は一切の責任を負いません。

---

## Sun の技術サポート

このマニュアルに記載されていない技術的な問い合わせについては、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.sun.com/service/contacting>

---

## コメントをお寄せください

弊社では、マニュアルの改善に努力しており、お客様からのコメントおよびご忠告をお受けしております。コメントは下記よりお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

コメントには下記のタイトルと Part No. を記載してください。

『Sun Blade 1500 ご使用にあたって』、Part No. 819-0520-11



## 第1章

---

# Sun Blade 1500 ワークステーションの設定

---

この章では、次の項目について説明します。

- 安全性と適合性に関する情報
- 設置作業の計画
- ワークステーションの開梱
- ワークステーションのケーブル接続
- ワークステーションの電源投入
- ワークステーションの電源切断

---

## 安全性と適合性に関する情報

詳細は、『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』(816-7190)を参照してください。このマニュアルは、Sun Blade 1500 ワークステーションに付属しています。

さらに詳しい安全性と適合性に関する情報は、『Sun Blade 1500 Safety and Compliance Guide』(817-5130)を参照してください。このマニュアルは、次の Web サイトで入手できます。

<http://www.sun.com/documentation/>

---

## 設置作業の計画

次のフローチャートを使用すると、Sun Blade 1500 ワークステーションの設置および設定に役立ちます。



## ワークステーションの開梱

梱包箱から、すべてのワークステーション部品やマニュアルを慎重に取り出します。実際のワークステーション構成に、図 1-2 のすべての部品が含まれるとはかぎりません。

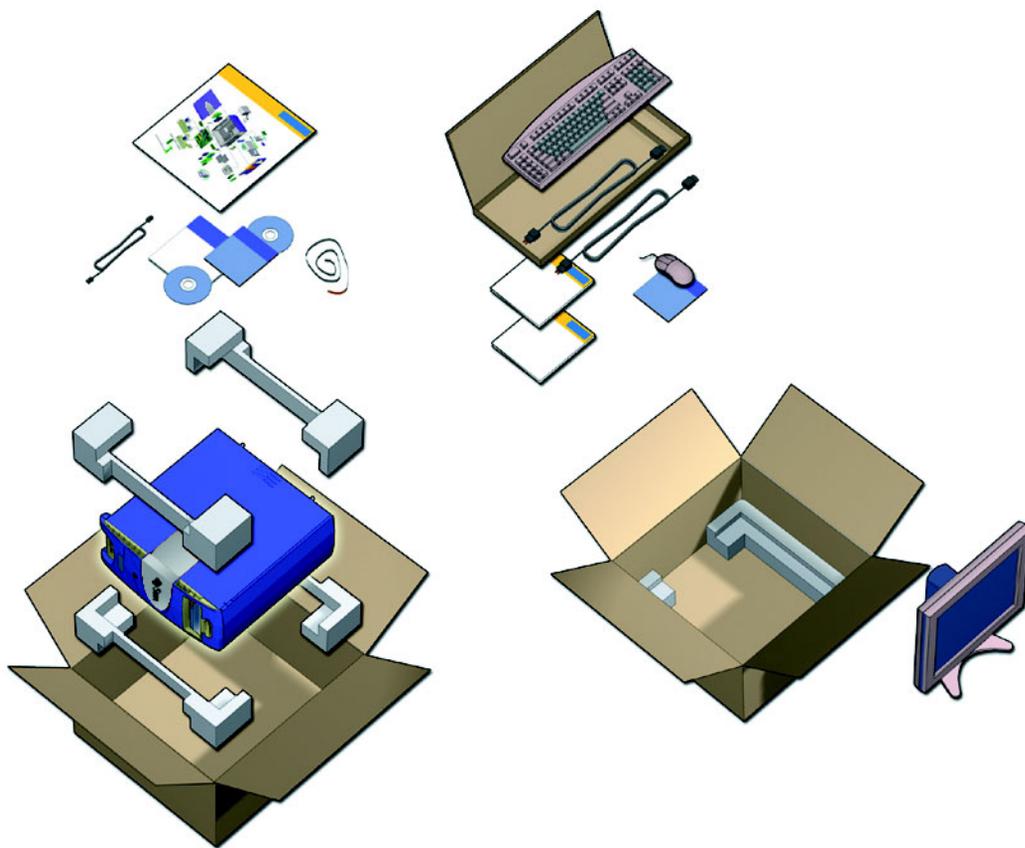


図 1-2 ワークステーションの開梱

## 正面パネルの概要

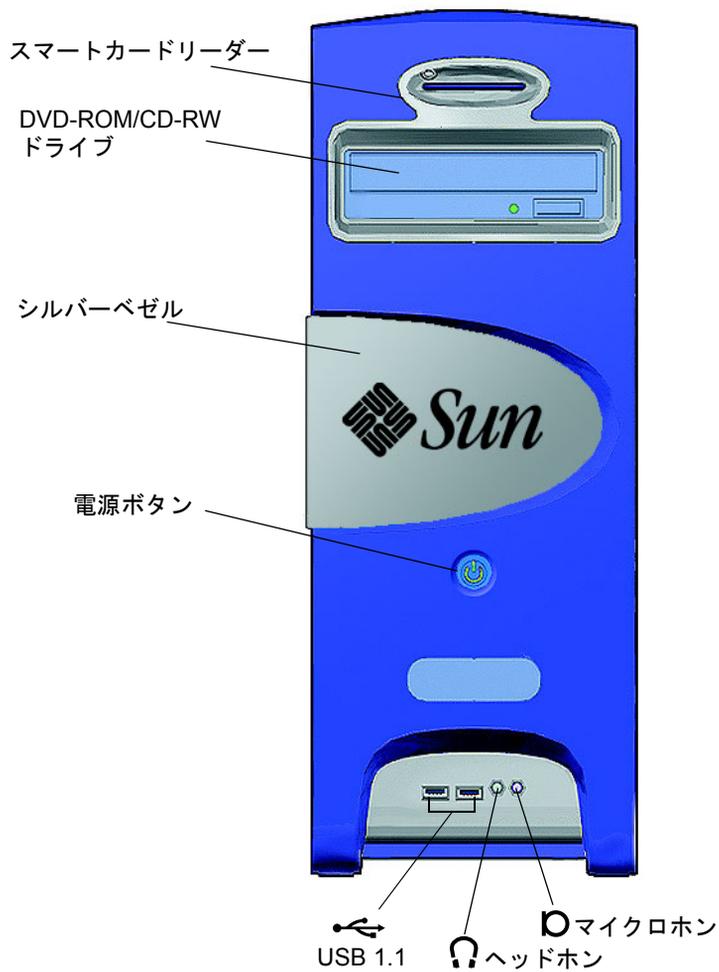


図 1-3 正面パネルの概要

# 背面パネルの概要

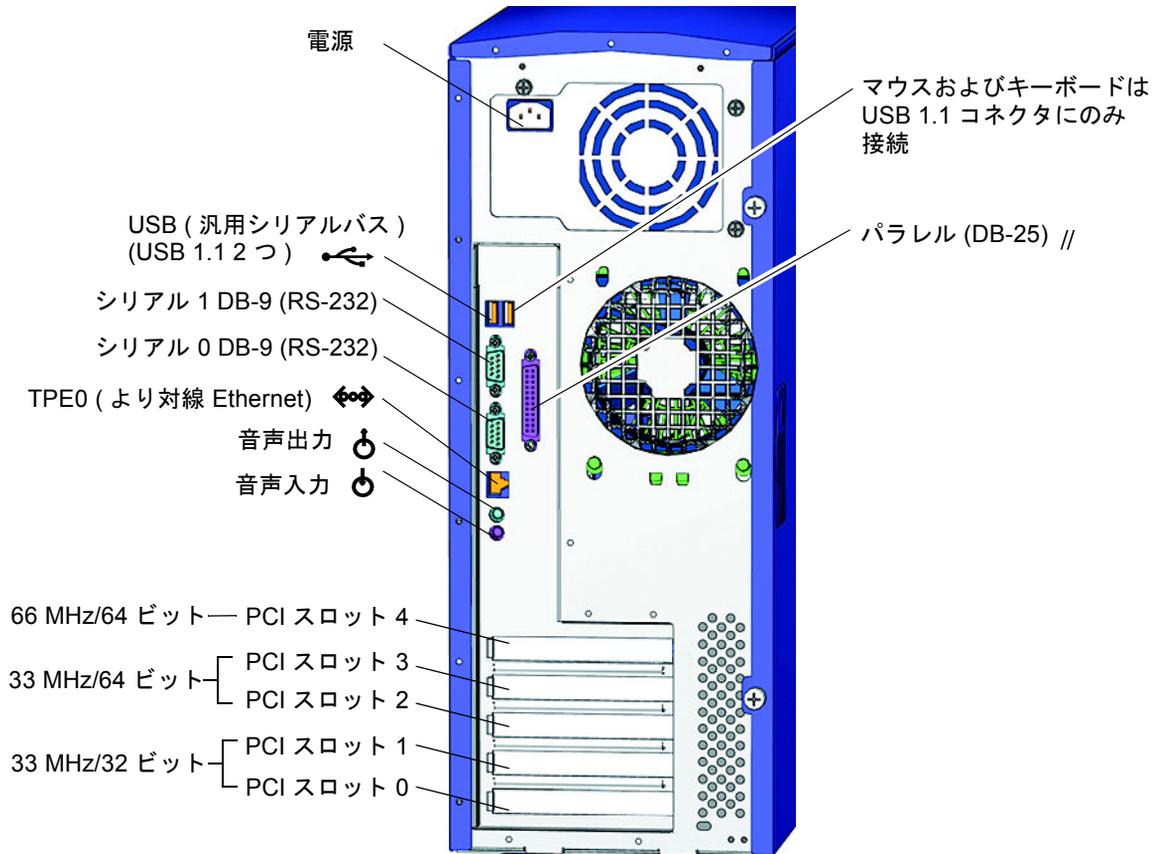
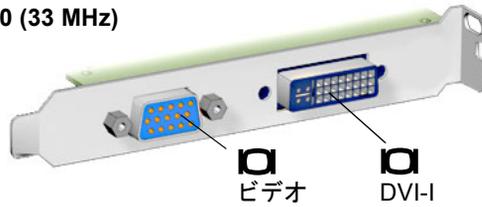
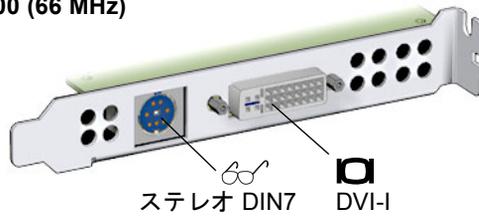


図 1-4 背面パネルの概要

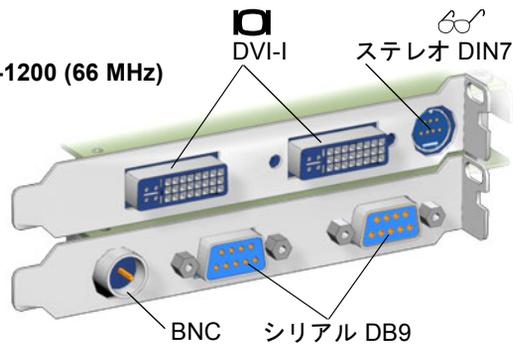
XVR-100 (33 MHz)



XVR-600 (66 MHz)



XVR-1200 (66 MHz)



IEEE 1394 および USB 2.x カード (33 MHz)

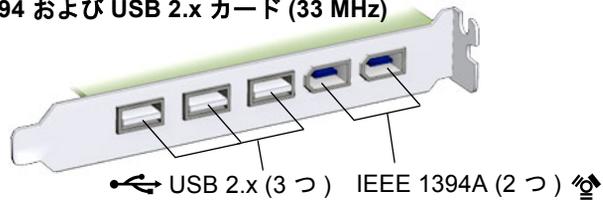


図 1-5 オプションのグラフィックスアクセラレータと搭載済みの IEEE 1394 および USB カード

## ワークステーションのケーブル接続

図 1-6 に、ワークステーションのケーブル接続を示します。

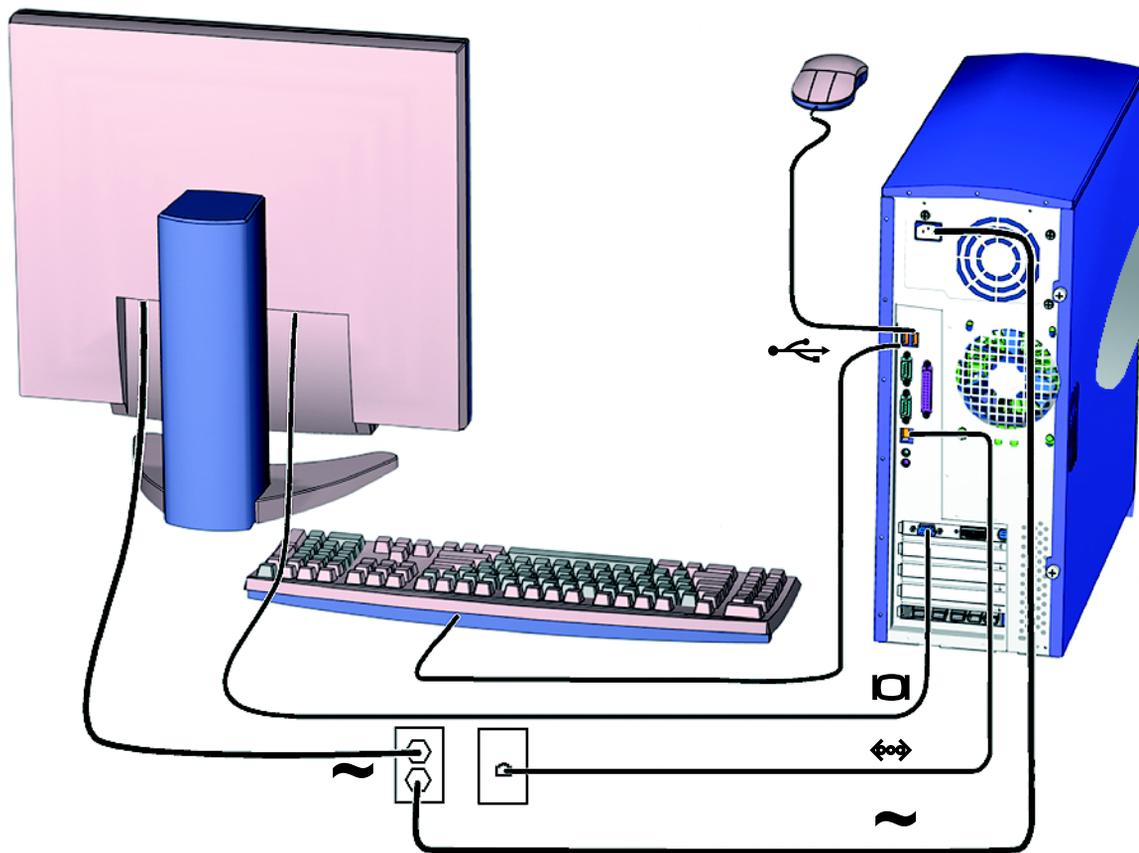


図 1-6 ケーブル接続

ワークステーションと外部装置のケーブルを次の順序で接続します (図 1-6)。

1. ワークステーションの電源コードをアースされた電源コンセントに差し込みます。
2. キーボードおよびマウスをオンボードの USB 1.1 コネクタ (ファンに近い方のコネクタ) に接続します (図 1-4)。

---

注 - オンボードのコネクタは、USB 1.1 です。マウスおよびキーボードは、USB 2.x ではなく USB 1.1 コネクタに接続してください。IEEE 1394 および USB 2.x カードコネクタは、より高速なデータ転送が必要な装置に適しています。

---

3. モニターの電源コードをアースされた電源コンセントに差し込みます。
4. モニターのケーブルを、グラフィックスアクセラレータのフィラーパネルにあるビデオコネクタに接続します。

---

注 - 使用しているワークステーションによっては、図 1-6 とは異なるグラフィックスアクセラレータが構成されている場合があります。『Sun Blade 1500 Product Notes』(817-5131) を参照して、使用しているグラフィックスアクセラレータを特定の PCI スロットに取り付ける必要があるかどうかを確認してください。

---

---

注 - 13W3 コネクタの付いているモニターを適切に接続するには、Sun の 13W3/VGA アダプタケーブルが必要です。このアダプタケーブル (Sun の販売用パーツ番号 X471A) は、ご購入先または次のサイトで注文できます。  
<http://store.sun.com/>  
このケーブルは、パーツ番号とケーブルの両方で検索してください。

---

5. Ethernet ケーブルを TPE コネクタに接続します。
6. 追加の外部装置をワークステーションのその他のコネクタに接続します。

## USB ケーブルの長さ

全長が 2.5 m (8.25 フィート) よりも長い USB 装置ケーブルまたは USB 延長ケーブルを正面パネルまたは背面パネルの USB 1.1 コネクタに接続すると、性能が低下する場合があります。2.5 m より長いケーブルを使用する必要がある場合は、電源付き USB ハブを使用してください。

---

# ワークステーションの電源投入

---

**参考** – 増設メモリー DIMM、PCI カード、光学式ドライブ、ハードディスクドライブなど、オプションの内部コンポーネントを取り付ける場合は、ワークステーションに電源を入れる前に、『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics, and Troubleshooting Manual』(817-5127) またはそのコンポーネントに付属する設置マニュアルを参照してください。オプションのコンポーネントを取り付けない場合は、電源を入れる準備が整っています。

---

**参考** – ShowMe™ How ビデオアニメーションは、Sun Blade 1500 Hardware Documentation CD (705-1197) に収録されています。ShowMe How ビデオアニメーションでは、DIMM、PCI カード、ハードディスクドライブ、および光メディアドライブの取り付けや取り外し方法が示されます。

---

1. モニターとすべての外部装置に電源を入れます。
2. 正面パネル (図 1-3 を参照) にあるワークステーションの電源ボタンを押して、離します。
3. 数秒後、電源ボタンの電源インジケータ LED が点灯していることを確認します。

電源ボタンの電源インジケータ LED は、ワークステーションが内部起動処理を開始したあとで点灯します (図 1-3 を参照)。

電源投入に問題がある場合は、35 ページの「Sun Blade 1500 ワークステーションの障害追跡」を参照してください。

---

**参考** – ワークステーションにはじめて電源を入れたあと、プリインストールされている Solaris 8 2/04 または Solaris 9 9/04 オペレーティングシステムソフトウェアを設定できます。11 ページの「Solaris オペレーティングシステムのインストール作業の計画」に進んでください。

---

# ワークステーションの電源切断

表 1-1 に、2 通りのワークステーションの電源切断方法を示します。

表 1-1 ワークステーションの電源切断

方法	説明
方法 1	 <ol style="list-style-type: none"><li>1. 実行中のアプリケーションをすべて終了し、保存します。</li><li>2. Sleep キーを押します (または、電源ボタンを押してから離します)。</li><li>3. 「Shutdown」を選択します。</li></ol>
方法 2	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 実行中のアプリケーションをすべて終了し、保存します。</li><li>2. スーパーユーザーで、<b>shutdown</b> と入力します。</li></ol>

注 – ワークステーションの電源を切ったあとは、4 秒以上待ってから電源を再投入してください。

## 第2章

---

# プリインストールされた Solaris オペレーティングシステムソフトウェアの設定

---

この章では、次の項目について説明します。

- Solaris オペレーティングシステムのインストール作業の計画
- オペレーティングシステムの設定
- Sun Install Check
- 電源管理機能

---

## Solaris オペレーティングシステムのインストール作業の計画

使用するワークステーションは、デュアルブート構成です。システムを設定する際、Solaris 8 または Solaris 9 オペレーティングシステムのいずれかを選択できます。選択できる Solaris オペレーティングシステムは1つだけです。オペレーティングシステムを選択したあと、もう1つの Solaris オペレーティングシステムはシステムによって自動的に消去されます。

---

**注** – 選択したバージョンの Solaris オペレーティングシステムには、ライセンス料は必要ありません。別のバージョンの Solaris ソフトウェアをインストールする場合は、新しいソフトウェアバージョンのライセンス料が必要となる場合があります。詳細は次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/solaris/licensing/index.html>

---

ハードディスクドライブにプリインストールされている構成は次のとおりです。

- ルート (/) パーティション — 14.0G バイト
- スワップパーティション — 0.5G バイト
- スペースパーティション — 主ハードディスクドライブの残り

---

注 – Sun Blade 1500 ワークステーションには、Solaris 8 2/04 または Solaris 9 9/04、あるいはそれ以降の互換性のあるバージョンが必要です。

---

次のフローチャートを使用すると、オペレーティングシステムの設定に役立ちます。

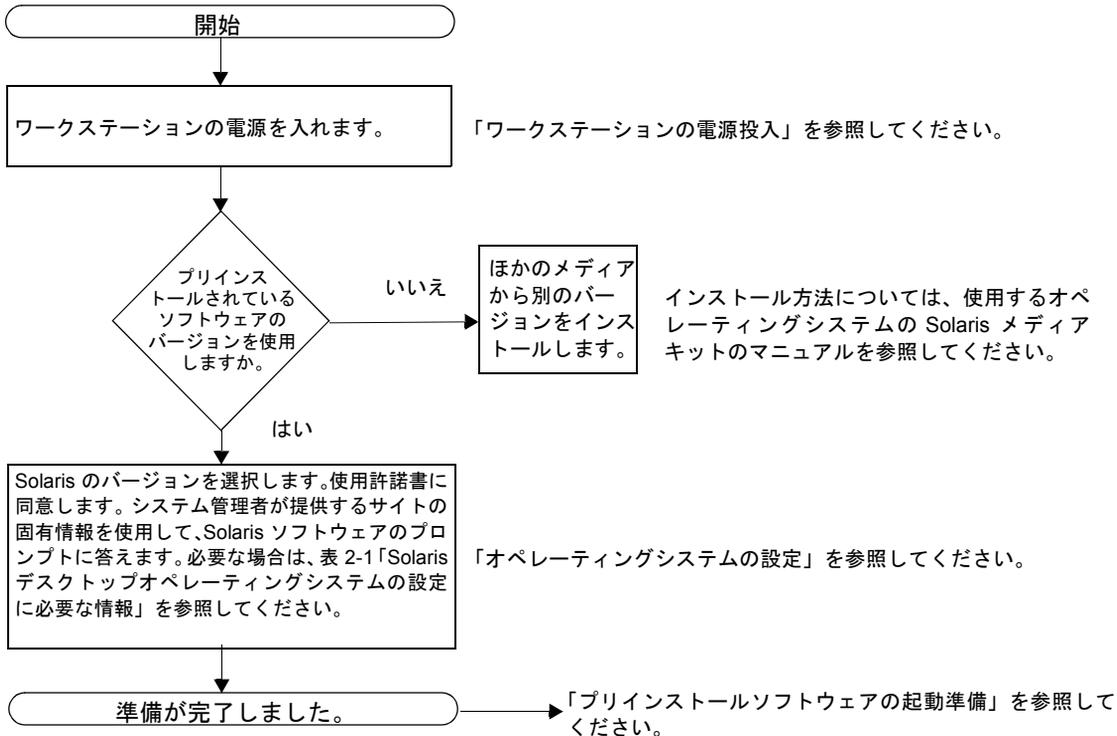


図 2-1 インストール作業の流れ

## オペレーティングシステムの設定

1. ワークステーションの電源を入れます。  
詳細は、9 ページの「ワークステーションの電源投入」を参照してください。
2. プリインストールされているソフトウェアのバージョンを確認します。新しいバージョンの Solaris オペレーティングシステムソフトウェアをインストールすることもできます。

---

注 – Solaris のバージョンによっては、Sun Blade 1500 ワークステーションで動作しないものがあります。インストールを開始する前に、Solaris オペレーティングシステムの互換性を確認してください。

---

3. 画面上の指示に従って、Solaris オペレーティングシステムの設定プロンプトに答えます。

---

参考 – 設定プロンプトに答えるため、設定を開始する前にシステム管理者からサイトの固有情報を取得してください。いくつかの情報は、使用しているネットワークから取得できる場合があります。システム管理者に確認してください。Solaris オペレーティングシステムを設定する前に、表 2-1 をコピーして、取得する必要がある情報を書き留めておいてください。

---

4. 「End」という名前の設定ウィンドウが表示されたら、「Confirm」ボタンをクリックします。

ワークステーションにログインウィンドウが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力すると、ワークステーションの使用を開始できます。

---

参考 – ワークステーションには、ほかにも多くの有用なソフトウェアパッケージがプリインストールされています。これらのアプリケーションについては、19 ページの「プリインストールソフトウェアの起動準備」を参照してください。

---

5. Solaris リリースノートを参照して、プリインストールされたソフトウェアに関する最新情報を確認します。

Solaris 8 2/04 または Solaris 9 9/04 のリリースノートは、次の URL で入手できます。

<http://docs.sun.com/>

表 2-1 Solaris デスクトップオペレーティングシステムの設定に必要な情報

設定ウィンドウ	説明および注	ユーザー情報
Solaris ライセンス	Solaris オペレーティングシステムの使用許諾書に同意します。	
Solaris リリース	Solaris オペレーティングシステムのリリースを選択します。	
言語およびロケールの選択	ワークステーションで使用するネイティブ言語およびロケール	
ホスト名	ワークステーションに付ける名前	
ネットワーク接続  (IP アドレス)	ネットワークまたはスタンドアロンのワークステーションのプロトコル。この項目は、システム管理者が記入する必要がある場合があります。  注：回答する方法や使用しているネットワークから提供される情報によっては、このワークステーションの IP アドレスを要求されることがあります。	
Kerberos セキュリティー	Kerberos セキュリティーを拒否するか、受け入れて設定します。	
ネームサービス	使用するネームサービス (NIS+, NIS、DNS、LDAP、None のいずれか) 注：ワークステーションがネットワーク接続されていない場合は、このウィンドウは表示されません。	
ドメイン名	このワークステーションの NIS または NIS+ ドメイン 注：ワークステーションが NIS または NIS+ サービスを使用していない場合は、このウィンドウは表示されません。	
ネームサーバー、サブネット、サブネットマスク	ネームサーバー (サーバーを指定するか、ワークステーションにローカルサブネット上で検出させます) 注：ワークステーションがネットワーク接続されていない場合は、このウィンドウは表示されません。	
タイムゾーン	地域のタイムゾーン (地理的な位置、GMT 相対位置、またはタイムゾーンファイルによって選択します)	
日付と時間	現在の日付と時間 (デフォルト設定を受け入れるか、現在の日付と時間を入力します)	

---

# Sun Install Check

Sun Install Check ツールは、ワークステーションのソフトウェアおよびハードウェアの構成情報を確認して表示します。Sun Install Check ツールをインストールすると、15M バイトのディスク容量が使用されます。Sun Install Check ツールを実行するには、次の Web サイトからダウンロードする必要があります。

<http://www.sun.com/software/installcheck/index.html>

次に、Sun Install Check ツールのダウンロード手順を示します。

## Sun Install Check のダウンロード

1. Sun Blade 1500 ワークステーションのスーパーユーザーでログインします。

---

注 – スーパーユーザーへの切り替え方法がわからない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

---

2. Web ブラウザを起動して、次の Install Check の Web サイトにアクセスします。

<http://www.sun.com/software/installcheck/index.html>

3. 「Get the Software」をクリックします。
4. 「Download Sun Install Check Tool」をクリックします。
5. My Sun<sup>SM</sup>、Sun Store、または SunSolve<sup>SM</sup> のユーザー名およびパスワードでログインします。

---

注 – ユーザー登録をしていない場合は、Sun に登録する必要があります。「Register Now」をクリックしてください。

---

6. 使用許諾契約を読んで、同意します。
7. 適切なリンクをクリックして、zip ファイルをダウンロード先ディレクトリに保存します。
8. ダウンロード先ディレクトリに移動して、.zip ファイルを解凍します。

```
unzip filename.zip
```

README ファイルが格納されたサブディレクトリが作成されます。

9. Sun Install Check ツールのインストールおよび実行方法の詳細は、README ファイルを参照してください。

---

## 電源管理機能

Sun Microsystems, Inc. は Energy Star<sup>®</sup> パートナーです。Energy Star マークの付いた本製品の構成は、Energy Star の基準に準拠しています。Energy Star に適合する構成に関する情報を得るには、次の URL にアクセスしてください。

[http://www.energystar.gov/index.cfm?=computers.pr\\_computers/](http://www.energystar.gov/index.cfm?=computers.pr_computers/)

「Products」 → 「Computers」 → 「Product List」の順に選択します。

Solaris オペレーティングシステムに統合されている Power Management<sup>™</sup> ソフトウェアは、ワークステーションのエネルギー効率を向上させます。内部サブシステムは指定された非活動時間（デフォルトの時間は 30 分）の経過後、低電力モードに入ります。サブシステムの電力供給は必要時に復旧します。

低電力モードとなっている間も、ワークステーションはネットワーク認識を保ち、ネットワークトラフィックに対応します。ネットワークトラフィックに対応したら、一定の非活動時間の経過後、サブシステムはふたたび低電力モードに入ります。ワークステーションの電源管理設定の変更方法の詳細は、Solaris User Collection の『電源管理システムユーザーマニュアル』を参照してください（20 ページの「Solaris マニュアル」を参照）。

正面パネルの電源ボタンの中央にある電源インジケータ LED には、表 2-2 で説明する、ワークステーションの電力状態を示す 3 つの状態があります。

表 2-2 電源インジケータ LED 状態

LED の状態	意味
LED 消灯	システムの電力が切断されているか、または起動中です。
LED 点滅	すべての内部サブシステムが低電力消費モードになっています。
	注：一部のハードウェア部品とソフトウェアドライバは、ワークステーションの低電力消費モードをサポートしていません。その場合、LED は点滅しません。
LED 点灯	1 つ以上の内部サブシステムで全電力になっていて、システムの自己診断が完了しています。

## ワークステーションを低電力モードにする方法

ワークステーションは、一定の非活動時間の経過後、自動的に低電力モードに入ります。手動でワークステーションを低電力モードに切り替えることもできます。

1. Sun Type-6 USB キーボードの Sleep キー (図 2-2) を押します。

「Power Off Selection」 (電源切断の選択) ダイアログボックスが表示されます。

2. 「Power Off Selection」 ダイアログボックスで「LowPower」 (低電力) を選択します。

ワークステーションは、処理中の活動を完了させ、短いタイムアウト時間の経過後、低電力モードに入ります。

---

**注** - ワークステーションを低電力モードにする、またはワークステーションの電源を切る場合は、キーボードの Sleep キーを使用してください。詳細は、図 2-2 を参照してください。

---

---

**注** - Sleep キーでワークステーションの電源を入れることはできません。ワークステーションの正面パネルにある電源ボタンを押してください。

---

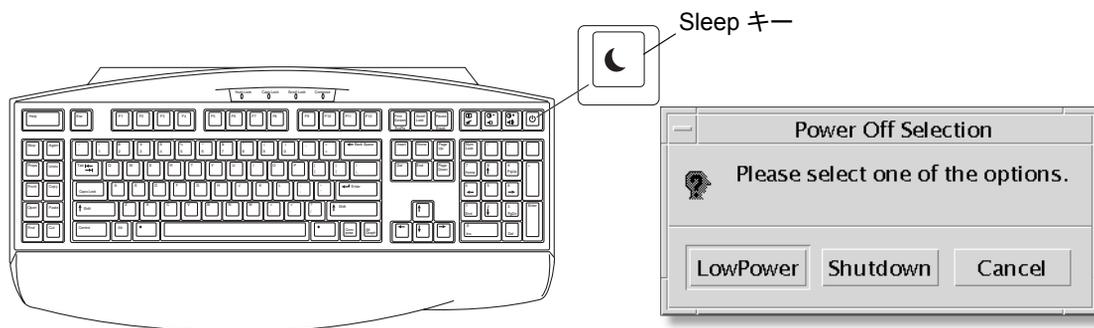


図 2-2 Sun Type-6 USB キーボードの Sleep キーと「Power Off Selection」メニュー

## 低電力モードのワークステーションのアクティブ化

低電力モードになっているワークステーションをアクティブにするには、マウスを動かすか、キーボード上の任意のキーを押します。モニターは再表示され、CPU やハードディスクドライブなどの内部コンポーネントは、必要に応じて、全電力に復帰します。

---

**注** – デフォルトでは、ワークステーションが低電力モードのときにはハードディスクドライブの内部ディスクは停止します。内部ディスクドライブを再起動してから適切な速度で動作するまで、最長 30 秒かかることがあります。ハードディスクドライブの電源管理設定の変更については、Solaris User Collection の『電源管理システムユーザーマニュアル』を参照してください (20 ページの「Solaris マニュアル」を参照)。

---

## 第3章

---

# プリインストールソフトウェアの起動準備

---

この章では、次の項目について説明します。

デスクトップシステムのソフトウェアおよび関連マニュアル

- Solaris マニュアル
- Sun Blade 1500 ワークステーションハードウェアマニュアル
- Mozilla
- Solstice DiskSuite およびボリュームマネージャー
- 共通デスクトップ環境 (CDE)
- GNOME デスクトップ環境
- Apache Server

共同作業および相互運用性に関するソフトウェア

- Adobe Acrobat Reader

生産性ソフトウェア

- Sun ONE Grid Engine
- StarSuite

開発者ツール

- Sun ONE Studio
- Perl
- Java プラットフォーム用開発ツール

マルチメディアソフトウェア

- JMStudio
- SunForum

プリインストールソフトウェアの復元およびプリインストールイメージのバックアップ

- プリインストールソフトウェアの復元
- プリインストールイメージの別のハードディスクドライブへのバックアップ

---

## Solaris マニュアル

Solaris オペレーティングシステムに関するマニュアルについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com/>

Sun ハードウェアの Solaris に関するマニュアルについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/documentation/>

次のようにリンクを選択します。

「Hardware Product Categories」 → 「Software」 → 「Solaris on Sun Hardware」

---

## Sun Blade 1500 ワークステーション ハードウェアマニュアル

### ハードディスクドライブに収録されているマニュアル

『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics, and Troubleshooting Manual』(817-5127-11) は、PDF 形式でハードディスクドライブに収録されています。また、このマニュアルには、マルチメディアによる保守手順へのリンクが含まれています。

PDF 形式の保守マニュアルを参照するには、コマンド行で次のように入力します。

**`/opt/Docs/ServiceManual/817-5127-11.pdf`**

PDF 形式の『Sun Blade 1500 Getting Started Guide』(817-5129-11) を参照するには、コマンド行で次のように入力します。

**`/opt/Docs/GettingStartedGuide/817-5129-11.pdf`**

---

注 - マニュアルを参照するには、まず、Adobe Acrobat Reader をインストールする必要があります。詳細は、25 ページの「Adobe Acrobat Reader の起動準備」を参照してください。

---

## CD に収録されているマニュアル

Sun Blade 1500 ワークステーションのマニュアルは、システムに付属の Sun Blade 1500 Hardware Documentation CD (705-1197) に収録されています。『CD の使用方法』には、Sun Blade 1500 Hardware Documentation CD (705-1197) に含まれる内容と CD の使用方法が記載されています。

---

注 – ShowMe How ビデオアニメーションは、Sun Blade 1500 Hardware Documentation CD (705-1197) に収録されています。ShowMe How ビデオアニメーションでは、DIMM、PCI カード、ハードディスクドライブ、および光メディアドライブの取り付けや取り外し方法が示されます。

---

## ShowMe How ビデオアニメーションの表示

Web ブラウザから Adobe Acrobat Reader を起動すると、ShowMe How ビデオアニメーションのリンクが正しく動作しないことがあります。次の代替方法のいずれかを実行できます。

### 方法 1

1. Adobe Acrobat Reader を開きます。
2. 『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics, and Troubleshooting Manual』を Acrobat Reader で直接開いて、マニュアル内のマルチメディアリンクにアクセスします。

PDF 版の『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics, and Troubleshooting Manual』は、マニュアル CD の次の場所に収録されています。

- /cdrom/cdrom0/Docs/ServiceManual/ (Solaris)
- /sunblade1500\_doc/Docs/ServiceManual/ (その他のプラットフォーム)

### 方法 2

1. マニュアル CD の HTML ページで、「ShowMe How」タブをクリックします。
2. そのページの任意のリンクをクリックして、アニメーションを表示します。

---

## Mozilla

Mozilla™ は、世界中で使用されているオープンソースのインターネットブラウザです。Mozilla の詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.mozilla.org/>

## Mozilla の起動準備

Mozilla を起動するには、端末エミュレータで次のように入力します。

```
/usr/sfw/bin/mozilla
```

---

## Solstice DiskSuite およびボリュームマネージャー

Solstice DiskSuite™ およびボリュームマネージャーは、データの高可用性、データの信頼性、システムまたは入出力性能の向上、および大規模システムとディスクの容易な管理を実現する Solaris オペレーティングシステム用のディスクおよび記憶装置管理アプリケーションです。

## Solaris 8 オペレーティングシステムでの Solstice DiskSuite の起動準備

Solstice DiskSuite を起動するには、**/usr/sbin/metatool** と入力します。

Solstice DiskSuite の起動に関する詳細は、次の Web サイトの『Solstice DiskSuite ユーザーズガイド』を参照してください。

<http://www.sun.com/documentation/>

次のようにリンクを選択します。

「Hardware Product Categories」 → 「Software」 → 「Solaris on Sun Hardware」

# Solaris 9 オペレーティングシステムでのボリュームマネージャーの起動準備

Solaris ボリュームマネージャーの起動に関する詳細は、次の Web サイトの『Solaris ボリュームマネージャの管理』を参照してください。

<http://docs.sun.com/>

---

## 共通デスクトップ環境 (CDE)

Sun Blade 1500 ワークステーションを設定するときに、Solaris 8 または Solaris 9 オペレーティングシステムのいずれかの CDE を選択できます。

CDE に関する情報は、次の Web サイトの Solaris User Collection を参照してください。

<http://www.sun.com/documentation/>

- 「Solaris Operating Systems」 → 「Solaris 8」 → 「Solaris 8 User Collection」
- 「Solaris Operating Systems」 → 「Solaris 9」 → 「Solaris 9 User Collection」

---

## GNOME デスクトップ環境

GNOME は、無料で配布されているデスクトップ環境で、グラフィカルユーザーインターフェースを提供します。GNOME の詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.gnome.org/>

## GNOME の起動準備

Solaris 9 オペレーティングシステムを使用すると、デスクトップ環境に GNOME を選択できます。GNOME を使用するには、次の手順を実行します。

1. CDE セッションからログアウトします。
2. ログインウィンドウで、「Options」メニューを選択します。
3. 「Sessions」サブメニューを選択します。

4. メニューから「GNOME」を選択します。
5. システムにログインします。

---

## Apache Server

Apache Server は、ソースプログラムが公開されている Web サーバーです。Apache Server は、現在の HTTP 規格に準拠したサービスを提供する、安全で、効率的、拡張可能なサーバーです。

### Apache Server の起動準備

ワークステーション上で Web サーバーを起動するには、次の手順を実行します。

1. `su` と入力し、スーパーユーザーパスワードを入力して、スーパーユーザー (root) になります。
2. 次のように入力して、サンプルの構成ファイル `httpd.conf-example` を `httpd.conf` にコピーします。  

```
cp /etc/apache/httpd.conf-example /etc/apache/httpd.conf
```
3. 構成ファイルを編集し、使用しているワークステーションに合わせてカスタマイズします。たとえば、使用するワークステーション用の HTML ディレクトリを設定する必要があります。

詳細は、次の Web サイトの「Documentation」リンクをクリックして、オンラインマニュアルの『Apache User's Guide』を参照してください。

<http://www.apache.org/httpd.html>

4. 次のように入力して、Web サーバーデーモンを起動します。  

```
/etc/rc3.d/S50apache start
```

---

## Adobe Acrobat Reader

Adobe Acrobat Reader は、PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示および印刷できる、無料で配布されているソフトウェアプログラムです。PDF は、作成したファイルと同じように、ファイルを表示および印刷できるファイル形式です。ファイルの作成に使用したアプリケーションやフォントは必要ありません。

## Adobe Acrobat Reader の起動準備

Adobe Acrobat Reader をインストールするには、次のように入力します。

```
/opt/spool/acroread/INSTALL
```

インストール後、Adobe Acrobat Reader を起動するには、次のように入力します。

```
/path/bin/acroread
```

*path* には、Adobe Acrobat Reader をインストールしたディレクトリを指定します。

デフォルトのインストールパスは、`/opt/Acrobat5` です。

---

## Sun ONE Grid Engine

ハードディスクドライブには、Sun ONE Grid Engine がプリインストールされています。Sun ONE Grid Engine を設定する前に、次の Web サイトにある Sun ONE Grid Engine のマニュアルを読んでください。

```
http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/Software/S1GEEE/index.html
```

詳細は、次の Web サイトを参照してください。

```
http://www.sun.com/software/gridware/ds-gridware/index.html
```

---

## StarSuite

StarSuite™ は、サン・マイクロシステムズのオフィス生産性ソフトウェアの最適な製品です。StarSuite は、ワードプロセッシング、表計算、グラフィックス、HTML、およびデータベースのコンポーネントを単一のワークスペースに統合する、強力で包括的なオフィス製品群です。

主な機能を次に示します。

- ワードプロセッシング、表計算、グラフィックス、Web パブリッシング、およびデータベースアプリケーションを含む、強力でスケーラブルな統合オフィス生産性ツール

- クロスプラットフォームでオープン環境のアプローチ — StarSuite は、Solaris ソフトウェア (SPARC® および Intel プロセッサ)、Microsoft Windows NT、Microsoft Windows 98、Microsoft Windows ME、Microsoft Windows 2000、および Linux でネイティブに実行されます。
- Microsoft Office ファイルとの相互運用性。ワードプロセッシング、表計算、およびプレゼンテーションのファイルの移行や交換を継ぎ目なく透過的に行うことができます。
- 単一のワークスペースを活用する、完全に統合された作業環境。情報へのアクセス、管理、編集、および共有を容易に行うことができます。
- HTML 形式の Web ページの作成、デザイン、およびパブリッシングを容易に行うことができる、組み込み型の Web パブリッシング

製品の構成要素を、次に示します。

- StarSuite Writer — ビジネスレター、大量のドキュメント、プロフェッショナルレイアウト、および HTML の作成に対応する、汎用ワードプロセッシングアプリケーション
- StarSuite Calc — 数値の分析、リストの作成、データの表示など、スプレッドシートの拡張機能を実行できる高度なアプリケーション
- StarSuite Impress — 効果的で人目を引くプレゼンテーションを作成するツール
- StarSuite Draw — 3D イラストレーションを作成するベクトル指向の描画モジュール
- StarSuite Base — ドキュメント間でデータを移動できる強力なデータ管理ツール

## StarSuite の起動準備

プリインストールされた StarSuite ソフトウェアを起動するには、CDE デスクトップのタスクバーにある StarSuite アイコンをクリックします。

StarSuite を起動するには、次のように入力します。

**`/opt/staroffice7/language/program/soffice`**

*language* には、english、french、german、italian、japanese、korean、spanish、swedish、simplified\_chinese、traditional\_chinese のいずれかを指定します。

StarSuite ソフトウェアの使用に関する詳細は、アプリケーションに組み込まれたヘルプシステムを参照してください。

---

注 – StarSuite のサポートは、Sun Blade 1500 ワークステーションには含まれていません。StarSuite ソフトウェアのサポートサービスは、別途契約が必要です。StarSuite のサポートサービスに関する最新情報は、次の Web サイトを参照してください。

---

<http://www.sun.com/software/star/staroffice/index.html>

<http://www.sun.com/software/star/starsuite/>

---

## Sun ONE Studio

Sun ONE Studio, Community Edition™ は、Java 技術開発者のための統合開発環境 (IDE : Integrated Development Environment) です。NetBeans™ Tools Platform をベースとする Sun ONE Studio ソフトウェアは、エンタープライズクラスのアプリケーションおよび Web サービスの開発において、Java および業界標準に対する最新のサポートを提供します。

### Sun ONE Studio の起動準備

Sun ONE Studio をインストールするには、次のように入力します。

```
/opt/spool/sun-one-studio/ffj_ce_solsparc.bin
```

詳細は次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/sundev/jde/index.html>

---

## Perl

Perl はソースプログラムが公開されているソフトウェアとして利用できるプログラミング言語です。Perl の処理や、ファイル、テキスト操作の機構は、高速プロトタイプ処理やシステムユーティリティー、ソフトウェアツールに関わる業務に特に適しています。

## Perl の準備

Perl を起動するには、次のように入力します。

```
/usr/bin/perl
```

Perl の使用方法については、次のように入力して、このアプリケーションのマニュアルページを参照してください。

```
man perl
```

---

## Java プラットフォーム用開発ツール

ワークステーションには、次の Java プラットフォーム用の Sun の開発ツールがプリインストールされています。

---

注 – Java 製品を復元する必要がある場合は、次の Web サイトからリンクを選択し、最新バージョンをダウンロードできます。

<http://java.sun.com/products/>

---

- Java 2 実行環境とソフトウェア開発キットは /usr/java/ にインストールされています。詳細は次の Web サイトを参照してください。

<http://java.sun.com/products/j2se/>

- Java 2 SDK では、Java 3D™ API が利用可能です。詳細は次の Web サイトからマニュアルのリンクを参照してください。

<http://java.sun.com/products/java-media/3D/>

- Java Plug-In は、Netscape ブラウザ用のプラグインで、標準 Java 実行時の完全サポートを提供します。詳細は次の Web サイトを参照してください。

<http://java.sun.com/products/plugin/>

- Java Media Framework は、/opt/JMF にインストールされています。詳細は次の Web サイトを参照してください。

<http://java.sun.com/products/java-media/jmf/>

Java Media Framework をインストールするには、次のように入力します。

```
cd /opt ; /opt/spool/jmf/install
```

- Java Communications API は、音声メール、ファックス、スマートカードなどの技術のための、プラットフォームに依存しない通信アプリケーションの書き込みに使用できます。詳細は次の Web サイトを参照してください。

<http://java.sun.com/products/javacomm/>

---

## JMStudio

JMStudio はスタンドアロンの Java アプリケーションで、JMF 2.0 API を使用して、メディアデータの再生、取得、コード変換、および書き込みを行います。また、JMStudio は、JMF RTP API も使用し、ネットワーク間のメディアストリームの送受信を行います。

JMStudio は、開発者パッケージの Java Media Framework に含まれています (28 ページの「Java プラットフォーム用開発ツール」を参照)。

JMStudio の詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://java.sun.com/products/java-media/jmf/2.1.1/jmstudio/jmstudio.html>

## JMStudio の起動準備

JMStudio を使用するには、まず Java Media Framework をインストールする必要があります (28 ページの「Java プラットフォーム用開発ツール」を参照)。

JMStudio を起動するには、`/opt/JMF-2.1.1e/bin/jmstudio` と入力します。

---

注 – ShowMe How ビデオアニメーションは、Sun Blade 1500 Hardware Documentation CD (705-1197) に収録されています。ShowMe How ビデオアニメーションでは、DIMM、PCI カード、ハードディスクドライブ、および光メディアドライブの取り付けや取り外し方法が示されます。JMStudio を使用して、これらのアニメーションを再生できます。

---

---

## SunForum

SunForum™ は、Sun のワークステーション、PC、アップルコンピュータの異機種システム混在環境での共同作業を可能にします。SunForum を使用すると、TCP/IP ネットワーク上で次の業界標準 H.323 機能のどれかを通じての対話を選択できます。

- 2 人以上での映像および音声会議
- 参加者間アプリケーション制御転送機能の提供により、PC アプリケーションを Solaris デスクトップ上で動作させたり、その反対の動作をしたりすることを可能にする、ネイティブおよび非ネイティブアプリケーション共有化

- ホワイトボード、チャットウィンドウ、クリップボード、ファイルなどの共有化

## SunForum の起動準備

SunForum を起動するには、`/opt/SUNWdat/bin/sunforum` と入力します。

SunForum に関する詳細や、最新バージョンのダウンロードは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/desktop/products/software/sunforum/>

---

## プリインストールソフトウェアの復元

ワークステーションは、Solaris オペレーティングシステムとその他のプリインストールソフトウェアで事前構成されています。しかし、何らかの理由でハードディスクドライブを交換する場合、その交換ドライブには、Solaris オペレーティングシステムやその他のプリインストールソフトウェアは事前構成されていません。

そのため、システムの復元が必要となった場合に使用できるように、オペレーティングシステムの完全なバックアップを作成および保存する必要があります。オペレーティングシステムのバックアップについては、プリインストールされている『Solaris のシステム管理』に記載されています。

また、プリインストールされているソフトウェアのいくつかは、該当するバージョンの Solaris メディアキットに含まれている CD からディスクに復元できます。このメディアキットには、ワークステーションにプリインストールされているソフトウェアが一部含まれています。また、ソフトウェアによっては、このマニュアルに記載されている Web サイトからダウンロードする必要があります。Netscape™ など、いくつかのソフトウェア製品は、メディアキットに含まれているバージョンとは異なるバージョンをそれぞれの Web サイトで提供している場合があります。

## プリインストールされた Solaris ソフトウェアの復元

---

注 – Sun Blade 1500 ワークステーションでは、Solaris 8 2/04 または Solaris 9 9/04、あるいはそれ以降の互換性のあるバージョンを使用してください。

---

## 1. バックアップメディア、Solaris メディアキットを入手します。

ワークステーションと一緒に注文した場合は、すでにこのキットを入手しています。システムと一緒にキットを注文しなかった場合は、購入先に連絡し、使用する言語と Solaris バージョンに合った Solaris メディアキットを注文してください。詳細は次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/software/solaris/binaries/get.html>

## 2. キットに同梱されている「Start Here」という文書のインストール指示に従います。

Solaris オペレーティングシステムと、希望する追加ソフトウェアをインストールできます。

パッチの詳細は、次の Web サイトで参照できます。また、この Web サイトでパッチをダウンロードすることもできます。

<http://sunsolve.sun.com/>

『Sun Blade 1500 Product Notes』にもパッチおよびソフトウェアのバージョン情報が記載されています。最新の『Sun Blade 1500 Product Notes』は、次の Web サイトから入手できます。

<http://www.sun.com/documentation/>

「Hardware Product Categories」→「Desktop & Workstation」→「Sun Blade 1500 ワークステーション」の順にリンクを選択します。

# Sun Blade 1500 ワークステーションマニュアルの復元

- ワークステーションのハードウェアマニュアルを復元するには、ワークステーションに付属の Sun Blade 1500 Hardware Documentation CD (705-1197) からマニュアルを再インストールします。

『CD の使用方法』(819-0529) の説明を参照してください。

## その他のソフトウェアの再インストール

その他のソフトウェアパッケージを再インストールする必要がある場合は、ソフトウェアのバージョンが最新であることを確認してください。ソフトウェアの最新バージョンについては、このマニュアルに記載されている Web サイトを参照してください。

## StarSuite ソフトウェアの再インストール

StarSuite の Community Edition は、次の Web サイトより無償でダウンロードできます。

<http://Openoffice.org/>

フル機能を備えた StarSuite 製品を入手するには、ご購入先に問い合わせて StarSuite の Enterprise Edition を注文してください。

また、ユーザーマニュアルとソフトウェアが CD-ROM で提供される、製品メディアキットの最新バージョンは、次の Web サイトから注文することもできます。

<http://wwws.sun.com/software/star/staroffice/get/index.html>

<http://wwws.sun.com/software/star/starsuite/get/index.html>

## Mozilla の再インストール

Mozilla の再インストールの詳細は、次の Web サイトを参照してください。

<http://wwws.sun.com/software/download/>

次のリンクを選択します。

「Top 10 Software Downloads」

---

## プリインストールイメージの別のハードディスクドライブへのバックアップ

ハードディスクドライブのバックアップの詳細は、『Solaris のシステム管理』で参照できます。このマニュアルは、次の Web サイトから入手できます。

<http://docs.sun.com/>

次のようにリンクを選択します。

- 「Solaris 全般」 → 「Solaris 8」 → 「Solaris 8 System Administrator Collection」
- 「Solaris 9」 → 「Solaris 9 System Administrator Collection」

# ハードディスクドライブのミラー化

## Solaris 8

使用している Solaris のバージョンについては、『Solstice DiskSuite ユーザーズガイド』を参照してください。このマニュアルでは、ハードディスクドライブを管理するさまざまな方法について説明しています。

Solstice DiskSuite の詳細は、次の Web サイトの『Solstice DiskSuite ユーザーズガイド』を参照してください。

<http://www.sun.com/documentation/>

次のようにリンクを選択します。

「Solaris Operating Systems」 → 「Software」 → 「Storage」

## Solaris 9

Solaris ボリュームマネージャーの起動に関する詳細は、次の Web サイトの『Solaris ボリュームマネージャーの管理』を参照してください。

<http://www.sun.com/documentation/>

次のようにリンクを選択します。

「Solaris Operating Systems」 → 「Solaris 9 9/04」 → 「Solaris 9 9/04 System Administrator Collection」 → 「Solaris Volume Manager Administration Guide」



## 第4章

# 障害追跡および技術サポート

この章では、ワークステーションの軽度の障害を追跡する際に役立つ情報が記載されています。

この章では、次の項目について説明します。

- Sun Blade 1500 ワークステーションの障害追跡
- 技術的な問題についての問い合わせ方法

## Sun Blade 1500 ワークステーションの障害追跡

ワークステーションの設定中に問題が生じた場合は、表 4-1 の障害追跡情報を参照してください。

表 4-1 障害追跡の手順

問題	障害追跡
ワークステーションには電源が入ったが、モニターに電源が入らない	<ol style="list-style-type: none"><li>1. モニターの電源ボタンがオンになっていることを確認します。</li><li>2. モニターの電源コードが電源コンセントに接続されているかどうかを確認します。</li><li>3. 電源コンセントに電力が供給されていることを確認します。別の装置に接続してテストしてください。</li></ol>
ok プロンプトが表示されて、システムの起動が停止する	ok プロンプトで、 <b>boot</b> と入力します。 システムが起動しない場合は、システム管理者または Sun Service Support Center に問い合わせてください。

表 4-1 障害追跡の手順 (続き)

問題	障害追跡
CD または DVD が、取り出しボタンを押してもメディアトレーから排出されない	<p><b>ユーザーの手順</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>マウスを動かすか、キーボードの任意のキーを押します。ドライブが低電力モードになっている可能性があります。</li> <li>メディアドライブの取り出しボタンを使用して、CD または DVD の排出を試みます。</li> <li>端末エミュレータで、<b>eject cdrom</b> と入力します。</li> <li>手順 3 を実行しても排出されない場合、CD または DVD がマウントされているかどうかを確認します。端末エミュレータで、<b>df   grep cdrom</b> と入力します。</li> </ol> <p>CD または DVD がマウントされている場合は、次のように表示されます。</p> <pre>/cdrom/wzi-2230 (/vol/dev/dsk/c0t2d0/wzi-2230): 0 blocks 0 files</pre> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>umount</b> に続けて、前述のコマンド出力の丸括弧内の文字列を入力し、CD または DVD のマウントを解除します。前述の例の場合は、マウントポイントは <b>wzi-2230</b> であるため、<b>umount /vol/dev/dsk/c0t2d0/wzi-2230</b> と入力します。</li> <li><b>eject cdrom</b> コマンドを入力します。</li> </ol> <p><b>メディア CD または DVD での代替手順</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>マウスを右クリックして、「Workspace Menu」→「Folders」→「Open CDROM」の順に選択します。</li> </ol> <p>ファイルマネージャーウィンドウが開きます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「File」→「Eject」の順に選択します。</li> <li>CD または DVD が排出されない場合は、端末エミュレータで <b>cd</b> と入力して CD または DVD ディレクトリを終了します。</li> <li>再度、ファイルマネージャーウィンドウから CD または DVD の排出を試みます。</li> </ol> <p>さらにサポートが必要な場合は、システム管理者または Sun Service Support Center に問い合わせてください。</p> <p><b>すべての CD または DVD に対するシステム管理者による非常時の手順</b></p> <p>スーパーユーザーで、<b>vo1d</b> デーモンを停止します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>端末エミュレータを開きます。</li> <li>スーパーユーザーで、<b>/etc/init.d/volmgt stop</b> と入力します。</li> <li>メディアプレーヤーの取り出しボタンを押します。</li> </ol> <p><b>注</b>：別の CD または DVD をマウントするには、<b>/etc/init.d/volmgt start</b> と入力して <b>vo1d</b> を起動する必要があります。</p> <p>前述の手順 3 を実行しても CD または DVD が排出されない場合は、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>システムを <b>ok</b> プロンプトの状態にします。</li> <li>取り出しボタンを押します。</li> </ol> <p>この 2 つの手順を実行しても CD または DVD がまだ排出されない場合は、ケーブルまたはほかのハードウェアに問題がある可能性があります。さらにサポートが必要な場合は、Sun Service Support Center に問い合わせてください。</p>

表 4-1 障害追跡の手順 (続き)

問題	障害追跡
<p>モニター画面に映像が表示されない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. モニターケーブルがグラフィックスアクセラレータに接続されているかどうかを確認します。</li> <li>2. モニターを別のシステムに接続して、動作するかどうかを確認します。</li> <li>3. 別のモニターがある場合は、これをもとのシステムに接続して、動作するかどうかを確認します。</li> <li>4. OpenBoot™ PROM のデフォルトが適切に設定されているかどうかを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源ボタンを 4 秒間押して、システムの電源を切ります。</li> <li>• 4 秒間待ってから、システムに電源を入れます。</li> <li>• 電源ボタンが点滅したら、すばやく電源ボタンを 2 度押します。ok プロンプトが表示され、システムはセーフ NVRAM モードに入ります。</li> <li>• OpenBoot PROM パラメタの output-device が screen に、input-device が keyboard に設定されていることを確認します。</li> <li>• ok プロンプトが表示されない、または output-device の設定を変更しても映像が表示されない場合は、Sun Service Support Center に問い合わせてください。</li> </ul> </li> </ol>
<p>正面パネルの電源ボタンを押してもワークステーションに電源が入らない</p>	<p>問い合わせが必要な場合に備えて、次の状況を書き留めておいてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. システム正面の電源ボタン LED が点灯しているかどうかを確認します。電源コードが、システムおよびアースされた電源ソケットに接続されていることを確認してください。</li> <li>2. 電源コンセントに電力が供給されていることを確認します。別の装置に接続してテストしてください。</li> <li>3. システムの電源を入れたときに、システムのビーブ音がすることを確認します。キーボードが接続されていることを確認してください。</li> <li>4. 動作する別のキーボードを使用してテストします。そのキーボードを接続してシステムに電源を入れたときに、システムのビーブ音がすることを確認します。</li> <li>5. 電源投入から 5 分以内に、モニターが同期をとることを確認します。モニターの緑色の LED の点滅が止まり、点灯します。</li> </ol> <p>注：モニターが同期をとっても ok プロンプトまたはログインウィンドウが表示されない場合は、システムが POST に合格していない可能性があります。Sun Service Support Center に問い合わせてください。</p> <p>システムが POST に合格して ok プロンプトが表示されても Solaris が起動しない場合は、<b>boot</b> と入力してください。</p>
<p>キーボードまたはマウスが操作に反応しない</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. マウスおよびキーボードのケーブルが、ワークステーションのオンボードの USB 1.1 コネクタに接続されていることを確認します。マウスおよびキーボードは、IEEE 1394 および USB 2.x カードの USB コネクタに接続しないでください。</li> <li>2. ワークステーションに電源が入っていて、正面の電源ボタン LED が点灯していることを確認します。</li> </ol>
<p>ワークステーションが低電力モードでも、電源ボタン LED が点滅しない</p>	<p>電源インジケータ LED は、すべてのシステム部品が低電力モードになっている場合にだけ点滅します。テープドライブがワークステーションに取り付けられている場合、テープドライブは低電力モードに入らないため、電源インジケータ LED は点滅しません。</p>

表 4-1 障害追跡の手順 (続き)

問題	障害追跡
アプリケーションがハングアップする。アプリケーションが応答しない	<p><b>手順 1：ホストワークステーションの使用</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. CDE ツールバーから、「Tools」→「Process」の順に選択します。</li> <li>2. 「Process Manager」ウィンドウで、「Find Process」を選択します。</li> <li>3. ハングアップしているプロセスを選択します。アプリケーションまたはプロセスの名前は、「Command」の列に表示されます。</li> <li>4. 「Process Manager」メニューから、「Process」→「Kill Process」の順に選択します。</li> </ol> <p>注：別のワークステーションからログインし、同じ GUI ツールを使用してアプリケーションを保存、終了、または強制終了できる場合もあります。</p> <p><b>手順 2：ユーザー自身のワークステーションからの端末エミュレータの使用</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハングアップしたプロセスの ID 番号を確認して、<b>ps -ef   grep process name</b> と入力します。</li> </ol> <p>注：まず、システムがハングアップしたときに最後に使用していたアプリケーションを強制終了します。必要に応じて、その 1 つ前に使用していたアプリケーションを強制終了します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2. プロセスを停止するには、<b>kill -9 process ID</b> と入力します。</li> </ol> <p><b>手順 3：遠隔ログインまたは telnet の使用</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 別のワークステーションから端末エミュレータを使用して、<b>rlogin hostname</b> または <b>telnet hostname</b> のどちらかを入力します。</li> <li>2. ログイン ID およびパスワードを入力します。</li> <li>3. 端末エミュレータから、<b>ps -ef   grep process name</b> と入力します。</li> <li>4. プロセスを強制終了します。システムが凍結したときに最後に使用していたアプリケーションの名前を入力します。</li> </ol> <p><b>kill -9 process ID</b> と入力します。</p> <p>最後に使用していたアプリケーションのプロセスを強制終了したあとで、システムが使用可能かどうかを確認します。使用可能でない場合は、システムが使用可能な状態になるか、システムを停止して再起動できるようになるまで、プロセスの強制終了を続けます。</p> <p>注意：遠隔システムからのログオフは確実に行ってください。端末エミュレータを終了しないと、ほかのユーザーによるシステムへのアクセスが可能になる場合があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 2 台目のワークステーションで、<b>exit</b> と入力して端末エミュレータを終了します。</li> </ol>

表 4-1 障害追跡の手順 (続き)

問題	障害追跡
<p>起動処理中に、システムがネットワークエラーメッセージを表示する</p>	<p>システムが次のエラーメッセージを表示した場合は、次の手順を実行します。</p> <pre>Warning: timed out waiting for NIS to come up :Timeout waiting for ARP/RARP packet</pre> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遠隔システムから、<b>ping hostname</b> コマンドを使用してシステムに <b>ping</b> を実行します。</li> <li>2. ネットワークが動作しているかどうかを、システム管理者に確認します。</li> <li>3. Ethernet ケーブルが、ワークステーションとコンセントまたはルーター間に接続されていることを確認します。</li> <li>4. 別の Ethernet ケーブルを接続します。新しいケーブルが動作するかどうかを確認します。</li> <li>5. ケーブルを変更しても改善されない場合は、システムを <b>ok</b> プロンプトの状態にして、<b>OpenBoot PROM</b> の設定を確認します。通常システムでは、<b>diag-switch?</b> を <b>false</b> に、<b>boot-device</b> を <b>disk net</b> に設定します。<b>OpenBoot PROM</b> の設定の詳細は、『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics, and Troubleshooting Manual』(817-5127) を参照するか、<b>Sun Service Support Center</b> に問い合わせてください。</li> </ol>
<p>ワークステーションのハングアップまたはフリーズ。マウス、キーボード、アプリケーションからの応答がない</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ネットワーク上の別のワークステーションからシステムにアクセスします。</li> <li>2. 端末エミュレータから、<b>ping hostname</b> と入力します。</li> <li>3. 応答がなければ、<b>telnet</b> または <b>rlogin</b> を使用して別のシステムから遠隔でログインし、システムに再度 <b>ping</b> を実行します。</li> <li>4. システムが応答するまでプロセスを強制終了します。この表の「アプリケーションがハングアップする」の手順を参照してください。</li> </ol> <p>上記の手順を実行しても動作しない場合は、次の手順を実行します。</p> <p>注意：「<b>Stop</b>」コマンドは、経験豊富なシステム管理者のみが使用してください。「<b>Stop</b>」コマンドを使用すると、コアダンプが損失する可能性があり、システムの問題を診断することが難しくなります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>Stop-A</b> を押します。システムが応答すると、<b>ok</b> プロンプトが表示されます。</li> <li>2. コアファイルを強制的にダンプします。<b>ok</b> プロンプトで <b>sync</b> と入力します。</li> </ol> <p>注：コアファイルのデフォルトの格納先は、<b>/var/crash/hostname</b> です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. <b>Sun Service Support Center</b> では、根本的な原因解析のためにコアファイルを要求する場合があります。</li> </ol> <p>上記の手順を実行しても動作しない場合は、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源ボタンを押して、システムの電源を切ります。</li> <li>2. 20 ~ 30 秒待ってから、システムの電源を入れます。</li> </ol> <p>注：システムの電源を再投入したときに <b>fsck</b> を実行して、損傷のあったリンクを修復する必要がある場合があります。ここでの手順を実行しても、システムが適切に機能しない場合は、<b>Sun Service Support</b> に問い合わせてください。</p>

表 4-1 障害追跡の手順 (続き)

問題	障害追跡
システムのビーブ音	連続したビーブ音の場合は、キーボードに動かないキーがないかを調べるか、キーボードを再接続します。ビーブ音が 3 回または 4 回鳴ったあと、システムの電源が切断される場合は、メモリー、CPU、またはマザーボードに問題がある可能性があります。 『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics, and Troubleshooting Manual』(817-5127)を参照するか、Sun Service Support Center に問い合わせてください。
障害追跡の詳細は、『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics, and Troubleshooting Manual』(817-5127)を参照してください。	

## 技術的な問題についての問い合わせ方法

表 4-2 Sun の Web サイトおよび電話番号

Sun Blade 1500 ワークステーションのマニュアルおよびサポートリソース	URL または電話番号
現在の Sun Blade 1500 ワークステーションのすべてのマニュアル (PDF ファイル)。主なマニュアルは、次のとおりです。 『Sun Blade 1500 Service, Diagnostics, and Troubleshooting Manual』(817-5127) 『Sun Blade 1500 ご使用にあたって』(819-0520)(このマニュアル) 『Sun Blade 1500 Product Notes』(817-5131)	<a href="http://www.sun.com/documentation/">http://www.sun.com/documentation/</a> 次のようにリンクを選択します。 「Hardware Product Categories」→「Desktop & Workstation」→「Sun Blade 1500 ワークステーション」
Solaris やこのマニュアルに記載されているその他のソフトウェアに関するマニュアルの検索 Web サイト。Sun Blade 1500 ワークステーションのマニュアルも一部登録されています。充実した検索機能が提供されています。	<a href="http://docs.sun.com/">http://docs.sun.com/</a>
このマニュアルに記載されている Sun ハードウェアの Solaris に関するマニュアルの検索 Web サイト	<a href="http://www.sun.com/documentation/">http://www.sun.com/documentation/</a> 次のようにリンクを選択します。 「Hardware Product Categories」→「Software」→「Solaris on Sun Hardware」
保証および契約サポートの問い合わせ先。各種サービスへのリンクがあります。	<a href="http://www.sun.com/service/online/">http://www.sun.com/service/online/</a>
障害追跡に関する意見交換および掲示板	<a href="http://supportforum.sun.com/">http://supportforum.sun.com/</a>
Sun のすべての製品に対するサポート、診断ツール、警告	<a href="http://www.sun.com/bigadmin/">http://www.sun.com/bigadmin/</a>
SunSolve™。ソフトウェアパッチへのリンクがあります。システムの仕様、障害追跡、保守情報、およびその他のツールが記載されています。	<a href="http://www.sunsolve.sun.com/handbook_pub/">http://www.sunsolve.sun.com/handbook_pub/</a>
Sun のすべての製品に対する保証	<a href="http://www.sun.com/service/support/warranty/">http://www.sun.com/service/support/warranty/</a>
Sun Service Support の電話番号 (北米の場合)	1-800-872-4786 (1-800-USA-4Sun)。オプション 1 を選択します。
世界中の Sun Service Support の電話番号	<a href="http://www.sun.com/service/contacting/solution.html">http://www.sun.com/service/contacting/solution.html</a>